

須恵

須恵町 議会だより

平成18年8月4日発行

156号



やっぱ、夏はこれやね〜！

6月定例会 主な内容

3,838万円平成十八年度一般会計補正予算を可決!	2
どうなる？議員定数	5
常任委員会レポート	6
ここが聞きたい(一般質問)	10
町のリーダーさん(須恵町区長会会長にインタビュー)	14

表紙/流しそうめん(東幼稚園)

インタビュー 町のリーダーさん

第18回



須恵町区長会会長(上須恵区長) 荒木 敏光さん

須恵町の各種団体、施設などの代表者にインタビュー、今回は、須恵町区長会の会長さんです。

自己紹介をお願いします。昭和十六年三月生まれの六十五歳です。魚釣り、ゴルフが趣味です。

釣りは週二回ほど行っていました。区長という重責を負ったからは年に一度行けるかどうかです。

富山県(神通川)の鮎の友釣り、あの力強い引きは今でも忘れることができません。

野球が好きで、小さい頃から始めました。後に関西の社会人野球チームに入り、都市対抗社会人野球にと頑張りましたが、体調を崩しユニフォームを脱ぎました。野球人生に悔いなしです。

野球が大好きで、小さい頃から始めました。後に関西の社会人野球チームに入り、都市対抗社会人野球にと頑張りましたが、体調を崩しユニフォームを脱ぎました。野球人生に悔いなしです。

区長会とは どのような団体ですか。須恵町は、二十の行政区と二十名の区長で構成されています。町の決定事項、情報等を住民の方に連絡・周知徹底する事はもちろん、住民からの要望をまとめ、町へ報告し、安心して住める町づくりに努めています。

今後の抱負を お願いします。日本防災協会主催、自主防火組織リーダー研修会に出席し指導者として終了証を頂きました。日本は、有数の災害国です。二十一世紀には、日本は地震活動の活発期に入るそうです。身近に起こった西方沖地震、増加する豪雨災害川の氾濫等、記憶に新しいところです。今後、研修で得た知識を多くの人たちと共有できる機会を願っています。

議会に何が要望されたい ことがありますか。財政厳しい中での議会運営は、大変なことだと思います。議員定数削減について議員自ら取り組まれている事に敬意を表します。要望として、一つお願いがあります。医療改革です。毎年、医療費の伸びは財政を圧迫している状況

であり、今テレビで盛んに宣伝されているジェネリック医薬品の導入です。私の経験からも決して効果が極端に落ちるとは思えません。なぜならば原料はメーカーから仕入れているところが多いからです。年齢を制限する等、方法はあると思いますので医療費の伸びの低下のため、ぜひ議会で検討していただきますようお願い致します。



夏の行事【上須恵祇園山笠】

編集後記

暑い日が続く中、涼を呼び軽やかな調べがあります。この夏、旅先で手に入れた風鈴で、その音色を聞くと、汗は治まり、爽やかな気持ちにさせてくれる一品です。日本独自のものだと思っていたら、起源は中国にあるそうです。風の向き、音の鳴り方で吉凶を占う道具として、仏教とともに日本に伝わったものだと思います。

平安時代には、縁側に下げて「カランカラン」という音で、外から疫病神が屋敷の中に入るのを防いだと、書物に残されています。銅製の今のものとは違う型の風鈴です。日本の暑い夏を、工夫して元気に過ごしましょう。



緒方義人

発行人/議長 長澤 誠司 編集/広報特別委員会 所在地/〒811-2193 須恵町大字須恵771番地 TEL092(932)1151(内線411 議会事務局) FAX092(933)6579

6月定例会

平成18年第2回定例会は、6月14日から6月22日までの9日間で、提案された17件の議案、および報告2件・諮問2件・請願3件・意見書1件は、すべて原案のとおり可決、承認されました。

3,838万円

平成18年度 一般会計 補正予算 を可決!



開会を宣言する長澤議長

十八年度
補正予算

歳入・歳出総額
71億3,576万円

一般会計(第二回)
補正額は、歳入歳出予算の総額にそれぞれ三千八百三十七万七千円を追加し、予算総額は、七十一億三千五百七十五万八千円となりました。
主なものは、第三学童保育所空調設備工事請負費百二十万円、第三学童保育所移転に伴う改修工

事請負費四百三十万円、一の浦橋本線案内標識設置工事請負費三百五十万円、須恵中技術科室改修工事請負費百三十万円、須恵東中ハイブリッド型照明灯設置工事請負費二百万円、類似公民館及び組合集会所新増築等補助金五百二十万円などです。

(全員賛成で可決)

水道事業会計(第一回)

収益的支出、八十万円を追加し予算総額は五億四千四百三十二万三千円となりました。
嘱託職員の慰労金です。

(全員賛成で可決)

請願

出資法の上限金利の引き下げ等、「出資の受け入れ、預り金及び金利等の取締りに関する法律」及び「貸金業の規制等に関する法律」の改正を求める請願

前記の法律を左記のとおり改正するよう求める意見書を、国会及び政府に対し提出することを請願します。

記

一、出資法第五条の上限金利を、利息制限法第一条の制限金利まで引き下げることを。

議会傍聴の様子
(一般質問)

見送られ、教職員の定数は自然減分の義務制約一千人、高校約五千人が減少することになります。
政府は、国の責務である教育水準の最低保障を担保するため、教育制第八次・高校第七次教職員定数改善計画を実施すること。

自然減を上回る教職員定数の削減を行うことなく、学校現場に必要な教職員の人員・人材を確保することを強く要請します。

請願者 岩谷 静夫
紹介議員 藤石 豊

(賛成多数で可決)

賛成：十一 反対：四
政府関係機関に送付しました。

たちがどこに生まれ育ったとしても、等しく良質な教育が受けられることは、憲法の保障するところですが、
したがって政府は、国の責務である教育水準の最低保障を担保するため、義務教育費国庫負担制度を堅持するように強く要請します。

(賛成多数で可決)

賛成：十三 反対：二
政府関係機関に送付しました。
次期定数改善計画の実施を求める請願
政府は、公務員の総人件費改革実行計画の中で、一般公務員とは別に「人員が多い」ということで、特に教職員の人員費削減を求めています。
このため、本年度の次期定数改善計画の実施が

(賛成多数で可決)

賛成：十一 反対：四
政府関係機関に送付しました。



恒久化に向けて

須恵パーキングエリア
スマートインターチェンジ
の社会実験については、
恒久化に向けての問題
点の一つである誤進入
調査を行うということ
で、九月三十日までの延
長が決定されています。
また、上り線アクセ
ス道路整備を行い、よ
り安全な道路改良を行
う予定です。

現在の利用台数は、
一日平均一千九百台で、
平日の一日平均は、二
千二百台と当初の計画
より大幅な伸びを見せ
ています。
今後は、国の要綱制
定に備え、また、恒久
化に向けて、費用対効
果検討などに鋭意取り
組んでまいりたいと思
っています。

計画は 断念

荒尾競馬組合の「場
外馬券売り場」(乙植木
再起地区) について、
当組合から建設意向の
計画が、まず、主な土
地所有者である「乙植
木財産組合」に申し入
れがあり、その内容に
ついて、乙植木財産組
合と荒尾競馬組合から
町に対して、計画書(案)
の概略的な説明があり
ました。
しかし、三月に入っ
て当組合から、今回の
計画は辞退したいとの
申し入れを受け、四月
十七日再確認の結果、
乙植木財産組合にもコ
ンサルタントから、報
告をさせたとの内容で
したので、荒尾競馬組
合からの「須恵町場外
馬券売り場」進出計画
は断念との結論を得ま
した。

町長報告



中嶋 裕史 町長

議長通信

6月議会を終えて



長澤 誠司 議長

議員定数協議

議会は、執行部(役場)及び議員自ら提案する議案の審議が主ですが、他の案件として住民から出される請願(陳情)も重要な審議対象となります。今議会は、教育問題や貸金業の規制等に関する三件の請願が提出され、審議を行いました。請願は、住民が国や地方公共団体(役場)の所管する事項(事務)に対し、希望を申し出ることで、このことは日本国憲法の基本的人権の一つに位置づけられています。今回の請願は、国に対するものですが、町に対しても身近な問題についても請願は可能ですので積極的にこの制度を利用していただき、建設的なご意見をお待ちしております。

六月十六日、一般質問終了後の全員協議会において、三月定例会号に述べていましたように、議員定数削減案について、四回目の協議を行いました。今回は、議席番号の古い順より意見を出してもらいました。結果は、下記に掲載しております。

六月十六日、一般質問終了後の全員協議会において、三月定例会号に述べていましたように、議員定数削減案として議案を上程し、その結果は、次号でお知らせしたいと考えております。議会としましては、今後多くの諸問題を含め、町が進めています「行財政改革」に全面的に協力していきたいと思っております。町民皆様のなご一層のご支援、ご理解をお願い致します。

教育行政報告



東 好男 教育長

子ども教育課
教育委員会事務局の組織について、本町の「行財政改革」に伴い、ゼロ歳からの子どもの教育を発達に応じた一貫したものととして推進していくために、これまでの「学校教育課」と「子育て支援室」を統合し、名称を「子ども教育課」と改め、幼児教育と学校教育の連携ある業務の遂行に努めることにしています。

導入された学校完全週五日制に加え、来年度からは全国一斉学力調査が実施されるなど、ここ数年来、大きな改革が進められています。
現在、開会中の国会では、教育基本法改正案が上程され、二十一世紀の国際社会にふさわしい教育のありようが論じられています。

本町の取り組み
教育委員会としましては、国の教育改革及び町の教育施策を踏まえ、本町の実態や地域住民のニーズを的確に把握しつつ、学校・家庭・地域が共に手をたずさえ、子どもたちに未来を開く確かな学力や主体的・自立的に行動することのできる資質・能力の育成に努めます。
また、一人一人の個性の伸張を図り、他人を思いやる心、社会に貢献しようとする態度など、豊かな人間性の育成に努めます。
さらには、生涯学習社会における町民の芸術・文化・スポーツの振興を目指すなど、各分野における適切かつ有効な教育行政に努めたいと考えています。

議員定数削減に関する協議内容

氏名	賛成	反対	意見
長澤 誠司			行財政改革に協力するため2名削減
藤石 豊			行財政改革に協力するため2名削減
森 勝己			行財政改革に協力するため2名削減
井上 仁			削減することで民意が伝わりにくくなるが、現状を鑑みて1名削減
豊永 主			削減には賛成
御手洗寿乃			行財政改革に協力するため3名削減
緒方 義人			行財政改革に協力するため2名削減
柴田 真人			合併を見据え、2名削減
百田 善廣			行財政改革に協力するため2名削減
稲永 信英			削減に賛成だが、減数については考慮中
三角 良人			行財政改革に協力するため2名削減
三上 政義			削減は地域の声が反映しにくくなる
原野 敏彦			一人にかかる責任が大きく、多くの意見が尊重できない
今村 桂子			行財政改革に協力するため2名削減
合屋 伸好			2名削減に賛成の方向だが、まだ未確定
貝原 雅俊			行財政改革に協力するため2名削減

建設産業

一の浦～橋本線道路改良工事5,000万円



道路整備が進む一の浦～橋本線

土木工事を施工

本路線は、須恵パーキングエリア・スマートインターチェンジの上り線アクセス道路整備として昨年度より取りかかり、二カ年計画の最終年度になります。

五メートルで、主な工事については、擁壁工事、排水工事、舗装工事、交通安全施設等を予定しています。



道路改良が進む内原～大谷線

内原～大谷線2工区道路改良受託事業



アクセス道路が改良されるクリーンパークわかすぎ

本路線は、ごみ処理施設クリーンパークわかすぎのアクセス道路としまして、歩行者の安全及び交通の円滑を図るものです。

平成十四年から七カ年の継続事業で、平成二十年の完成を計画しています。

工事量は、工事長一八九メートル、主な工事については、排水工、擁壁工、舗装工、交通安全施設等を予定しています。

事業費は、一億二千五百万円、財源内訳は、受託事業収入です。

総務文教

心肺停止状態の急患者に迅速に対応

町施設に自動体外式除細動器を設置

自動体外式除細動器（AED）は、心肺停止状態の急患者に電気ショックを与え、心臓の正常な働きを回復させる装置で、医師などの資格がない一般人でも使用できるのが特徴です。

町庁舎には、自動体外式除細動器を昨年十一月から置いていますが、本年度は福岡県自治振興組合の事業の一環として公共施設に無償配布されることになり、本町ではすべての小・中学校、アザレアホール、ボランティアセンター、社会福祉センター、若杉の森運動公園、歴史民族資料館、美術センター久我記念館に一台ずつ合計十一台が、機器取り扱いの職員講習が終わった施設から順に

配布される予定となっております。心肺停止状態の急患者に迅速に対応できる体制が整備されます。



自動体外式除細動器（AED）

環境教育の提案

地球の環境悪化が問題になり、京都議定書が発令され、二酸化炭素削減が身近なものになってきました。

須恵町教育委員会では、学校教育の中で身近なところから環境教育・地球温暖化防止等々を意識する必要性を高めるため、エネルギーの大切さを教えるシンボリックな環境エネルギー教育の教材として、太陽光と風力という自然の恵みをエネルギーに変えるハイブリッド発電機を、立地条件を活かし「須恵東中学校」に設置し、生徒の環境教育の

充実に役立てるとともに、夜間照明灯を設置し防犯に役立てるため、風力発電整備助成事業の申込を行っています。

しかし、今回の特別枠は九州グリーン基金の百パーセントに近い補助事業のため、九州の各中学校関係・社会福祉法人・NPO等々の申込が殺到し、受理されるかは未定ですが、発電助成事業が続く限り検討してもらおうよう申し入れしました。



ハイブリッド発電機

環境福祉

国民健康保険 がピンチ!

総世帯数九千七十九世帯、人口二万五千六百六十人、六十五歳以上の高齢者四千三百五十六人、高齢化率一六・九六%、国保世帯数三千三百三十五世帯、被保険者数八千六百六十一人、国保加入率三三・七五%、平成十七年度の一人当たり医療費では、一般二十五万一千八百八円、退職四十四万一千七十一円、老人百七十九万九千九百九十九円、介護保険においても、年々増加しており、十七年度に引き続き十八年度においても介護保険の税率の引き上げを行っています。六月議会におきまして、十七年度の国民健康保険特別会計補正予算の専決処分が提出・報告される中で、医療費の約五五%が、国・県からの補助金で、残りの四五%を国保税で補う仕組みとなっていますが、現状では国保税は三三・四%にとどまっております。この赤字額を一般会計から繰り入れられており、非常に厳しい運営を余儀なくされているのが現状です。

仮に、この財源不足を税に転嫁すると、一人当たりの年税額が約一万七千円程度高くなります。十七年度は、財源不足を全額一般会計から補填されていますが、十八年度は、更なる赤字が予測され今後においては税率の改正も余儀なくされるのではないかと考えられます。

向は近年の経済の低迷と、少子高齢化の影響がさらなる財政負担増となるのではないかと懸念されています。



介護予防事業 南米里区「ミニデイサービス」

医療費を増やさないために

国保は皆さんの健康を守る大切な制度です。医療費をこれ以上増やさないためには、日ごろの悪い生活習慣を改めることにより、生活習慣病は防げます。定期的に健康診断を受け医療費を有効に使う心がけるようにして下さい。国保の健全な運営が保たれるよう、皆さんのご協力をお願い致します。

意見書

「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書

働き方や暮らし方を直して、「仕事と生活の調和」を図ること、いわゆるワーク・ライフ・バランスの実現が、これからのわが国にとって重要課題です。

ワーク・ライフ・バランスは労働政策に限るものではなく、省庁の枠を超えて総合的に政策が実施できるよう、「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)を制定すべきです。社会経済情勢の変化に対応した豊かで活力ある社会が実現できるようなワーク・ライフ・バランス形成の促進を図るため、同基本法によって基本方向を定め、総合的かつ計画的に施策を実行することを強く要望します。

提出議員 森 勝己
賛成議員 柴田 真人

(賛成多数で可決)

賛成：十三 反対：二
政府関係機関に送付しました。

教育委員会委員
を任命



阿部 隆叙氏



三丸 佐代子氏

任期満了に伴う須恵町教育委員会委員に阿部隆叙氏(城山区・六三歳)、三丸佐代子氏(昭徳区・五五歳)が選任され議会の同意を受けました。任期は、平成二十二年六月三十日までです。

議会用語

「審議・審査」とは?

「審議」は議会の会議で提出された議案などについて、説明を聞き、質疑、討論を重ね表決するという一連の過程のことです。

「審査」は委員会において、議会の議決の対象となる議案などについて、議論して一応の結論を出す一連の過程のことです。

町議会の活動状況を知るために、どなたでも傍聴できます。申込みの受付は、役場4階議会事務局で行っています。なお、次の定例議会は、9月13日からの予定です。

傍聴席から見た議場

特別 委員会	議長 副議長 委員	長 副長 委員	澤 緒方 森 今村	司 義人 勝己 桂子
-----------	-----------------	---------------	--------------------	---------------------

その他の議案	可・否	その他の議案	可・否
平成十七年度須恵町一般会計補正予算(第八回)の専決処分について	全員賛成	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	全員賛成
平成十七年度須恵町国民健康保険特別会計補正予算(第四回)の専決処分について	全員賛成	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増加及び福岡県市町村職員退職手当組合規約の変更について	全員賛成
平成十七年度須恵町老人保健特別会計補正予算(第二回)の専決処分について	全員賛成	福岡県自治会館管理組合を組織する町村数の減少について	全員賛成
平成十七年度須恵町公共下水道事業特別会計補正予算(第四回)の専決処分について	全員賛成	福岡県自治振興組合を組織する市町村数の増減について	全員賛成
須恵町特別職の職員及び教育長の給与に関する条例の特例に関する条例の制定について	全員賛成	福岡県市町村災害共済基金組合を組織する市町村数の増減について	全員賛成
須恵町非常勤消防団員に係る退職報酬金の支給に関する条例の一部を改正する条例	全員賛成	工事請負契約の締結について	全員賛成
平成十七年度須恵町一般会計予算繰越明許費に係る繰越計算書の報告について(報告)	報告済み	財団法人須恵町開発公社の経営状況を説明する書類について(報告)	報告済み

一般質問

ここが聞きたい!!



答弁中の中嶋町長



藤石 豊 議員

問
須恵町は、福岡県が4月に策定した市町村合併推進構想で糟屋郡中南部6町が地域性や効率性等を考慮され、同構想の対象自治体に「合併推進が望まれる地域」として位置付けがなされました。すでに各町長間では合併協議を始められていることと思います。その協議経過と方向性をお聞かせ願います。また、新法の期限であります二〇二〇年三月までに各町間の意志統一が

合併推進が望まれる須恵町 十分な手順を踏んで

答
スムーズに進むように望むものであります。町長の指導力と中心的な役割に期待致します。

答 中嶋町長
現在、明日の粕屋を考える会において、古賀市外七町の首長により協議を行っています。古賀市・新宮町については、平成二十一年度末までには合併はしないという動きで、平成二十二年度までは合併の論議をしないという事です。

残された粕屋中南部六町については、県の推進構想の答申内容にもあるように、合併することが望ましい地域に当たっており、県の方からも六町合併を推進してほしい旨の申し出があつております。

粕屋6町も合併対象



県が推進構想策定

合併推進構想の対象地域として掲載された新聞記事

六町が合併すると人口は、十七万三千人と特例市の二十万人までには若干届きません。古賀市・新宮町を入れますと八万〜九万人が増えますので中核市を狙う大チャンスがあり、中核市になると独自の特区や税的な問題についても特段の配慮があるため、目指すのは当然のことと思います。

また、道州制の話もありますので、古賀市、新宮町も入れたところの合併をしたいというのが気持ちの中にもありますが、今のところ六町で合併の方向に進んでいくということになります。そのためには、十分な手順を踏むということが大事であると考えています。

まちを元気に、岳城にお城を築こう 困難性がある



御手洗 寿乃 議員

問
「入るを計って出るを制す」という昔からの金言がありますが、三月に制定された「須恵町行政改革プラン」は、出るを制しています。入るを計る方は、税金等の収納率の向上や滞納の解消に努めることになつています。町民の心を一つにしてボランティアで岳城にお城を築いて、それを目玉に窯跡・眼療宿場等を巡ってもらおう。



現在の恵山閣跡地

答 中嶋町長
恒久的な「お城」というのは須恵町の歴史にもありませんし、大宰府県立自然公園に指定されているため、許可が出ないと思います。また、今の経済状況の中では非常に困難性があると思います。眼療宿場についても、現在の形状が残っているわけでもないし、宿場そのものがありません。今からやってみようという事は難しいものがあります。

問
恵山閣が無くなっていくようになりますが、食事をしながらのあの眺望は忘れられません。お茶を飲んだり、食事をした場所として最高の場所です。跡地にそういう施設ができないか、コンペを募って民間業者にやってみようかと、いろんな方法があると思います。

答 中嶋町長
今後、その法律が成立し、国からの補助金や、国が知恵を貸してくれるということであれば、これは非常に良いことであると思つています。恵山閣跡地について、民間から申請があれば考えますが、あえて、私どもの方から町とタイアップした形でそういったものをつくっていくという考えはありません。恵山閣が現にある場所で経営ができなかつたという実績がありますので、これは難しい問題であると思つています。

恵山閣跡地に 観光施設を 国の支援があれば

今、国会に「観光立国法」の改正案が上程されますが、政府も地域の観光産業の振興に向けて積極的な取り組みを促しています。

一般質問



森 勝己 議員

問 ことばの教室の開設を
していただき、もう早い
もので数十年の歳月が経
つたと思います。

新聞で見ましたが米子
市の市役所カウナーに
耳マークのプレートが設
置されていて、聴覚障害
者の皆さん、また、中途
障害者の方々が大変喜ん
でいるようです。

外見ではわかりにくく、
話すことは普通にできて
も、聴くことが難しいた
め、誤解を受けることが
あるようですので、行政

答 中嶋町長
お金の掛かることでも
ないし、早速設置するよ
うにしています。

現在、マークを入れる
クリアースタンドを発売
しているところですが、
それぞれのカウナー
に置きます。

早速、設置

聴覚障害者、中途聴覚障害者のための耳マークプレート設置

フェンスや塀を 緑や花で飾る ガーデニングで街を花いっぱい

大いに賛成

問 平成二年の国体時、花
いっぱい運動が商工会、
また、婦人部を通して展
開されていきました。

現在も町有地には、花
が咲き、町内を飾って
います。

そこで、住民が気軽に
参加できるガーデニング
バスケット教室を推進し、
行政主導ではなく、住民
主導により、町民のみな
なで、花と緑いっぱい運
動を展開し、我が町を
花いっぱいにしたらどう
でしょうか。

答 中嶋町長
現在、二十五名を受け
入れてガーデニング教室
を行っています。庭が
中心であるため、今後は
フェンスや壁等の外にも
飾っていただくようなこ
とをやっていこうと思っ
ています。

広報紙やホームページ
等による啓発を進めてい
きます。

町費を使わなくて、そ
ういったボランティアの
気持ちで町を美しくして
いただくことについては
大いに賛成します。



町を彩るガーデニングバスケット



今村 桂子 議員

問 ボランティアアセンダー
を起点に、二台、五路線
の福祉バスが運行してい
るが、利用者が非常に少
ない。

町民からは、利用しや
すいように

駅、ストア、病院、
幼稚園、学校等の巡回を、
バス停の間隔を短く、
通勤通学時、幼稚園送
迎時、部活の子どもの帰
宅時等の時間帯の運行を、
との声があがっています。

コミュニティバス化
も含め、実現の可能性は、
町は、福祉バス運行に
約一千七百万円程度を支
出しているが、財政的に
効率的運行とは、とても
言えない状況です。



現在運行している「福祉バス」

答 中嶋町長
コミュニティバス化
を目指したいという考え
を持っています。

部活動あるいは幼稚園
送迎等に利用できないか
という問題を含め、現在
検討中です。

コミュニティ化をや
っている他の自治体は、
数年かけて市場調査を十
分にやっているようです。
経営が悪化し、コミュニ
ティバスを福祉バス
に戻すという自治体もあ
ります。

時間帯やバス停の間隔
を考慮したコミュニテイ
ー化へ向け、更なる研究
を進めていきます。

もっと、町民の声に耳
を傾け、利便性をはかり
多くの方が利用しやすく
なるように改善してい
たい。

コミュニティ バス化を目指す

福祉バス路線時間帯の改善を